



# Pyxis

**The ultimate solution for HD and SD Non Linear video playback and recording for the professional post production environment.**



# Pyxis



Pyxisはオーディオポストプロダクション、フィルムダビング、テレシネキャプチャ、スクリーニングルーム、ADRレコーディングスタジオにおけるADRリスト準備、コントロールファンクションで使うために設計されたノンリニアビデオプレイヤー/レコーダーファミリーです。PyxisはWindows XP™ オペレーティングシステムのPCプラットフォームに簡単にインストールできます。PyxisはSONY™ 9ピンコントロール下の一体型システムとして操作したり、標準イーサネットを接続プロトコルとして使ったスタジオ内ネットワークのマルチシステムの一部として操作することができます。

## ファミリーアプローチ:

Pyxisファミリーは4つの製品からなっています。Standard Definitionプレイヤー/レコーダー(PYX-S)、Decklink Extremeカードを使ったGenlockとSDI I/Os 付属のStandard Definitionプレイヤー/レコーダー(PYX-PRO)、HD/SDネットワーク対応プレイヤー(PYX-P)、最高速ビデオクオリティのための4:2:2非圧縮ビデオサポートのDecklink DualLink HDカードまたはDecklink Single Link HDカードを使ったSDIとGenlockのついたHD/SDプレイヤー/レコーダー(PYX-HD)の4つです。

すべてのバージョンがNTSCまたはPALの非圧縮または圧縮ビデオフォーマットをサポートしフィルムプロダクション用のHDバージョンでは24と23.98を含んだあらゆるフレームレートをサポートしています。さらに、すべてのHDバージョンがマスタータイミングリファレンスとしてTri-Levelシンクをリファレンスすることができます。LTCは必要に応じて作成可能なのでPyxisはあらゆるダビングルーム作業でマスターとして簡単に使うことができます。

## ユーザー設定可能:

ホストPCはエンドユーザーが設定することができます。つまり、ストレージ条件、周辺機器はそれぞれ特定のシステム条件により最初にカスタマイズしたり後で必要性が生じた時に追加することができます。これはまたPyxisコンフィギュレーションが他のシステムよりも経済的にできるということになります。GenlockシステムとSDI I/Osのために、Decklink ExtremeまたはHD Linkハードウェアがサポートされています。詳しくは [www.blackmagic.com](http://www.blackmagic.com) をご覧ください。

## ポスト対応:

PyxisはAvid Video OMF Compositionsがリムーバブルメディアで供給されたりセントラルビデオサーバーに直接接続する場合、直接インポートしてストリーミングすることができます。

Pyxisソフトウェアはビデオタイムライン内においてロケーターポイントを使ってカットや移動を行うことが可能です。また複数のクリップを1つのシーケンスとしてコンパイルすることもできます。Pyxisは完全なビデオエディティングシステムという意図のものではないのですが、シーンの移動やシーンの変更、シーンの削除を行う機能がたくさんあり普通ならこれらの変更を待たなければならない時でもオーディオポストプロダクションの作業工程を続けることができます。



## DAWサポートとオーディオポストプロダクション

SONY™9ピンコントロールを使って、PyxisはほぼすべてのDAWとコミュニケーションを取ることができます。さらに、Pyxisはシーン変更あるいはキーフレームのロケーターをキャプチャしてエディット作業でのシンクリファレンスポイントとして使うことができます。FairlightのDREAMシリーズワークステーションの1つと接続した場合、独自の双方向コントロール機能によってPyxisのトランスポートコントロールからDREAMシリーズを操作することができます。PyxisはOMFファイルを受け取って変換なしで直接再生することができます。その他のサポートファイルタイプにはQuicktime、AVI、DV-25、MJPEG、非圧縮ビデオがあります。さらに、PyxisはNTSC、PAL、HDビデオフォーマットを一般に使われるフレームレートでサポートしています。

**主なDAWサポート機能：** SONY™ 9PINコントロールマスター/スレーブ ・Genlockオーディオ/ビデオオプション OMF、Quicktime、AVI、DV-25、WAV、AIFF、AES-31、XML、Fairlightファイルフォーマット\*のインポート/エクスポートのサポート ・サムネイルフレームレジスターを含む洗練されたオートロケート機能 ・標準フレームレート(30、29.97DF、29.97ND、25、24、23.98)でのPALとNTSC両方のLTC In/Out ・フィルム作業用のフレームレートコンバージョン(NTSC-PAL) 24フレームHDオプション ・モニタリングオプションの幅広い選択肢 ・包括的なエディティング機能 ・画面上のオーディオメタリング ・ロケーターなどユーザー設定をプロジェクトファイル内に保存可能 ・ユーザーフレンドリーなタッチスクリーンインターフェイス ・PyxisがFairlight DREAMファミリー製品に接続されている場合デュアルマスター/スレーブオペレーション可能 ・オーディオウェブフォームのスムーズなスクロールとフレーム精度のフィルムストライプ表示

\*ファイルによっては転送にAV Transferをインストールする必要のあるものがあります。Pyxis認定販売店にお問い合わせください。



## ダビングシアター&スクリーニングルーム

Pyxisはダビングシアターとスクリーニングルームのため長編映画やテレビ作品に必要な映像ソースをつくります。Pyxisは非圧縮HDまたはSD4:2:2ビデオフォーマットでのSDI出力でスタニングピクチャーレゾリューションをサポートしています。さらに、Pyxisは必要に応じてOMFファイルを直接再生することができ、つまり、画像変更に簡単に対応することができます。ファイルはリムーバブルストレージあるいは中央に置いたビデオサーバーとつながっている場合はそこに置くことができます。さらに、Pyxisは必要なレートでLTC出力することができるので、モーションコントロールとコンソールアニメーションシステム、DAW、DAT、その他のマルチトラックトランスポーターへのインターフェイスに簡単になることができます。追加のセキュリティでPyxisにはビデオヘウォーターマークを追加するオプションがあります。これらは標準のビットマップファイルとして始まり、画像が埋め込まれ、ユーザー定義のレベルの不透明で映像内でランダムに移動することができます。

**主なダビング機能：** Genlockのビデオ出力とサンプル精度オーディオ出力 ・外部モーションコントロールシステムのコントロール用のLTC出力 ・4:2:2非圧縮までのSD/HD切り替え可能 ・ビルトインマルチマシンコントロールオプション ・リモートコントロールオプション ・ウォーターマーク焼付け ・タイムコード焼付け



## ADRコントロール

Pyxis ADRマネージャーオプションを使って、オートマチックレコーディングキューをPyxisシステムに簡単にインポートすることができます。外部でキーされた場合、ダイアログテキストとオートレコードイン/アウトポイントは簡単にADRマネージャーにインポートすることができます。ダイアログテキストはキューイングディスプレイ(ストリーマー)とアクターに対するピーブ音と一緒にADRレコーディングセッションの間、映像で自動的に表示されることができます。9ピンで接続している場合、マルチトラックレコーダーやDAWのような外部機器を自動的にアームするよう設定して予め定義されたイン/アウトポイントでレコーディングのドロップイン/アウトすることができます。

**主なADRコントロール機能：** 外部作成されたADRリストのインポート・映像で表示するためのレコードイン/アウトとダイアログテキストのインポート・EDLのインポート・プリロール中のストリーマーのオンスクリーン表示・ダイアログテキストのオンスクリーン表示・国際言語、フォントのサポート・ユーザー定義可能なフォントとフォントサイズ・Take In/Outポイントの「見てポン」での取り込み・ユーザー定義可能なインスタントワンタッチプリロール・タッチスクリーンオペレーション・9ピンを使った外部マルチトラックデバイスまたは2つの内部トラックへのオートレコーディング・BWFへのエクスポート・Fairlight DREAMファミリー製品に接続されている場合のデュアルマスター/スレープオペレーション・ウェブフォームとフレーム精度フィルムストライプディスプレイのスムーズなスクロール・ビデオでのガイドトラックのインポート・ワンタッチテイクジェネレーションのためのオートテイクローター・ユーザー定義可能なキーマッピングのUSB® Shuttle Pro®オプション・ビルトインテキストエディタ・スムーズなジョグ/シャトルとスクラップオーディオトラック



## テレシネキャプチャ

Sony™9ピンスレープとしてPyxisを使って非圧縮HDまたはSDビデオにレコーディングすることで、PyxisをTelecine転送ベイに接続した場合に重要なキャプチャシステムにします。レコーディングされたビデオファイルはネットワーク接続を通してエディットベイに簡単に転送することができます。

**主なテレシネキャプチャ機能：** マスター/スレープの両方として洗練されたSONY™9PINレスポンシブ・Genlockオプション・Bi-LevelとTri-Levelビデオシンクのサポート・最大4:2:2のすべてのフレームレート、すべてのフォーマットの非圧縮SDとHDのサポート・すべてのフレームレートでのLTC入出力・デイリーラッシュの同期のためのタイムスタンプを伴ったBWFインポート・アナログまたはデジタル入力を通じたオーディオとビデオキャプチャ・タイムコード焼付け・シーケンシャルビットマップを含んだすべての関連フォーマットでのネットワーク接続を通じたファイルエクスポート・「見てポン」のサンプルレートコンバージョン

## ネットワーキング

Pyxisはネットワーク対応で、離れた場所にあるPCベースのネットワークハードウェアを取り扱うことができます。これにはギガビットイーサネット、ファイバーインストレーションが含まれます。特定の状況下では中央のビデオサーバーや他の可能なネットワークシステムからビデオファイルのストリーミングを直接行うことができます。注意:ビデオとオーディオファイルのストリーミングは使えるネットワークのバンドウィズ、ネットワークプロトコル、ストレージバンドウィズ、エディット密度、ファイルフォーマットに依存します。ネットワーク能力に関する詳細はPyxis認定販売店にお問い合わせください。

## Pyxisグラフィクス

PyxisグラフィクスディスプレイはシステムをVTRに代わる機器としてコントロールするのに必要な情報すべてを表示し、すべての基本的なエディティングとロケーター機能にアクセスするクイックキーがあります。グラフィクスは最初から大きな点灯ボタンとメニューバーを備えたタッチスクリーンディスプレイをサポートするように設計されました。グラフィカルユーザーインターフェース(GUI)もすべての選択された機能の状態を明確に示すようになっています。GUIはシステムを完全なリモートコントロール機器にします。

### クイックキー

ディスプレイの左上側に置かれたこれらのキーはカット、コピー、ペースト、トリム、ムーブなどのすべてのエディット機能にワンタッチ/マウスクリックアクセスを可能にします。Mark InとOutボタンはADRオペレーションでもオートマチックレコーディングでのパンチインアウトポイントを提供するためにも含まれています。さらに、クイックキーはすべての選択されたトラックでのClip Level, SOLO, Mute, Armの選択のために用意されています。

### ビデオディスプレイと トランスポートキー

スクリーンの中央にあるのはメインのビデオディスプレイです。簡単なダブルタッチ/クリックアクションでビデオトラックをフルコンピュータスクリーン表示にすることができます。おなじみのトランスポートキーに加えて、中央部分ではタイムコードポジションの現在値、Undo/Redoボタン、外部マスター/スレブロックステータスと同様にオーディオメータリング、トラックズームイン/アウト、トラックスクラッピング/ラブ機能も表示しています。

### オートロケーターディスプレイ

スクリーンの右上側にあるのは15のオートロケータタイルのレジスターです。フレームは任意の関連タイルを単にタッチするだけで取り込まれます。このアクションによってカレントフレームとそのタイムコードディスプレイがレジスターに置かれます。その時に使われているビデオタイルはピクチャウィンドウを使われたタイルにドラッグすることで置き換えることができます。ロケータータイルの数は無限です。矢印の上下キーによってレジスターをタイル表示縦方向に進ませることができます。



### トラックセレクトボタン

ビデオ/オーディオトラックの左側にあるのはARM, Solo, Muteを選択したり必要な時にエディットするトラックを選択するボタンです。各ボタンは状態を示すために点灯しています。レコーディング機能はビデオと最初の2つのオーディオトラックで使うことができます。HDバージョンには8つのオーディオトラックがあり、SDバージョンでは4つのトラックが用意されています。オーディオトラックはOMFのようなファイル転送の間自動的にロードされます。

### オーディオ/ビデオトラック

Pyxisはすべてのオーディオとビデオトラックを固定ブレイヘッドに関連してスムーズにスクロール表示します。ブレイヘッドポジションはユーザー定義可能です。すべてのオーディオトラックはズームイン/アウトファンクションをもったウェブフォームディスプレイ機能があります。選択されたトラックは反転します。

クリップは圧縮されたビデオファイルか非圧縮か、OMFファイルかHDかを示すために異なる色で表示されます。クリップファイルフォーマットは互いに同じタイムラインにミックスしエディットすることができます。

### フレーム精度

Pyxisにはフィルムスライブディスプレイ機能があり画像のフレーム精度とファインレゾリューションスクラッピングを可能としています。タッチスクリーンまたはマウスをインターフェースとして使って、エディットポイントとピクチャーカットを簡単にブレイポイントに置いてオートロケーターレジスターに転送することができます。反転ボダーがその時の位置しているフレームに加えられます。ユーザーが入れたマークもメイントラックディスプレイの上のポインターとして表示されます

## PYX-S - Pyxis SD Recorder/Player

- ・ 非圧縮またはDV25ビデオの記録/プレイバック
- ・ MJPEGの2:1からおよそ50:1までの様々な圧縮レートでの記録/プレイバック
- ・ ステレオオーディオの記録/プレイバック
- ・ ビルトイン9ピンマシンコントロール
- ・ オーディオワークステーションまたは外部ビデオ同期の他の9ピンコントロールデバイスに同期しながらのビデオ再生
- ・ ビジュアルフレームロケーター、タイムコードロケーター、ジャンプキーを伴ったプロジェクトでの任意のポイントへの即座のランダムアクセス
- ・ ネットワーク対応プロジェクト管理
- ・ 中央ビデオサーバー\*からの圧縮ビデオファイルのネットワークストリーミングプレイバック
- ・ 直感的なタッチスクリーンインターフェース(対応TFTが必要)
- ・ 包括的なエディット機能
- ・ OMF、AVI、Quicktimeファイルのインポート/ストリーム
- ・ Fairlight ML4、BWave、WAV、AIFF、AVI、QuicktimeとPyxis VMUのエキスポート

## PYX-PRO - Pyxis SD Genlocked Recorder/Player

- ・ 注意:Decklink Extremeビデオハードウェアが必要です
- ・ 上記PYX-Sシステムのすべての機能と次の機能を含みます
- ・ DeckLink "Extreme"カードをサポートしGenlockとSDI、2つのバランスオーディオI/O、SPDIFデジタルオーディオのようなプロフェッショナルI/Oのレンジを提供します
- ・ 完全デジタルSMPTE-259M 10 bit SDI入出力
- ・ BetacamSPTMに接続するためのアナログコンポーネントY、R-Y、B-YビデオI/O
- ・ 1つのSPDIF/アンバランスAESデジタルオーディオ出力。オーディオモニタリングやマスタリングに優れています
- ・ True10ビット/8ビット非圧縮ビデオオリティモード
- ・ SDIシンクをつくるDeckLinkとしてシンクジェネレータを必要としません
- ・ Genlock可能なビデオ出力
- ・ ビデオへのオーディオサンプルロック

## PYX-P - Pyxis Player Node HD/SD

- ・ StandardまたはHigh Definitionで非圧縮またはDV25ビデオのみの再生
- ・ 2:1からおよそ50:1までのさまざまな圧縮レートでのMJPEGだけの再生
- ・ 8/10 bit 4:2:2 HDフォーマット、1080psF/23.98、1080psF/24、1080i/25、1080i/29.97、1080i/30の再生。  
\*将来の開発で720p/59.98、720p/60をサポートする予定です
- ・ 8トラックオーディオの再生。
- ・ オーディオワークステーションあるいは外部ビデオシンクの9ピンコントロールデバイスに同期したビデオ再生
- ・ ビジュアルフレームロケーター、タイムコードロケーター、ジャンプキーを伴ったプロジェクトでの任意のポイントへの即座のランダムアクセス
- ・ ネットワーク対応プロジェクト管理
- ・ 中央ビデオサーバー\*からの圧縮ビデオファイルのネットワークストリーミング再生
- ・ 直感的なタッチスクリーンインターフェース(対応TFTが必要)

- ・ 包括的なエディット機能
- ・ OMF、AVI、Quicktimeファイルのインポート/ストリーム
- ・ Fairlight ML4、BWave、WAV、AIFF、AVI、QuicktimeとPyxis VMUのエキスポート
- ・ Tri-Level Sync搭載PCI-Commsカード付属

## PYX-HD - Pyxis HD Recorder/Player

- ・ 注意:Decklink HD PROシングルまたはデュアルリンクハードウェアが必要です
  - ・ SDI Video I/O
  - ・ コンポーネントビデオアウト、RGB、YUV
  - ・ Word ClockとTri-Level Syncアウト
  - ・ Tri-Level Syncイン
  - ・ デュアルチャンネルSPDIFオーディオ入出力
  - ・ 非圧縮またはDV25ビデオの記録/プレイバック
  - ・ MJPEGの2:1からおよそ50:1までの様々な圧縮レートでの記録/プレイバック
  - ・ 8/10 bit 4:2:2 HDフォーマット、1080psF/23.98、1080psF/24、1080i/25、1080i/29.97、1080i/30の記録/プレイバック
  - ・ 8トラックオーディオの記録/プレイバック
  - ・ オーディオワークステーションあるいは外部ビデオシンクの9ピンコントロールデバイスに同期したビデオ再生
  - ・ ビジュアルフレームロケーター、タイムコードロケーター、ジャンプキーを伴ったプロジェクトでの任意のポイントへの即座のランダムアクセス
  - ・ ネットワーク対応プロジェクト管理
  - ・ 中央ビデオサーバー\*からの圧縮ビデオファイルのネットワークストリーミング再生
  - ・ 直感的なタッチスクリーンインターフェース(対応TFTが必要)
  - ・ 包括的なエディット機能
  - ・ OMF、AVI、Quicktimeファイルのインポート/ストリーム
- \*注意:ビデオ/オーディオファイルのストリーミングは可能なネットワークバンドウィズ、ネットワークプロトコル、ストレージバンドウィズ、エディット密度、ファイルフォーマットに依存します。ネットワーク能力に関する詳細はPyxis認定販売店にお問い合わせください

## PYXIS OPTIONS

### PYXIS - ADR

- ・ スポットADRテイクを直接リストにもってきてADRメニューでのプルダウンウィンドウとして扱うことができます
- ・ 必要なテイクにイン/アウトタイムコードポジションを入れることができます
- ・ スクリーンディスプレイにテキスト(ダイアログ)を入れます
- ・ ワンタッチテイクキュー
- ・ ユーザー定義のプリロール
- ・ テイクキュー、ストリーマーとキュートーンのジェネレーションのビデオディスプレイ
- ・ 外部9ピンマシンがつながれた場合のオートマッチアームとレコーディング
- ・ スタンダードWindowsXP言語ツールを使った国際言語のサポート

### PYXIS - LTC

- ・ すべての標準のフレームレージョでのLTC入出力を可能にします
- ・ AVS CAB-1 LTCブレークアウトケーブルを含みます



株式会社 フェアライトジャパン  
〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-3-11  
Tel: 03-5432-4151 Fax: 03-5432-4533

[www.fairlight.co.jp](http://www.fairlight.co.jp)

**Distributed by:**